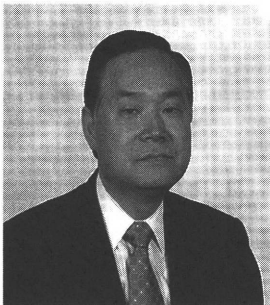


# 第15回

## あたって 日本癌病態治療研究会の開催に 生越喬二

第15回日本癌病態治療研究会当番世話人  
東海大学医学部 消化器外科



本日、ここに第15回日本癌病態治療研究会が開催できますことは、私にとって誠に光栄であります。これもひとえに、名誉会長磯野可一先生をはじめとした、会員の緒先生方、名誉会員の先生方のご協力の賜物であり、ここに厚く御礼申し上げます。

本研究会は、私の恩師である三富利夫先生が平成4年に第1回日本癌病態治療研究会を開催してから数えて15回となりここに、再び東海大学でお世話することができ非常に感激しております。

本研究会は個人個人の治療法を確立し患者のQOLを向上することを目的として設立されました。英文表示にも研究会名としてはきわめてまれな Strategy (戦略) という文字が入っています。また、World Federation of Surgical Oncology Society (WFSOS) の日本で唯一のメンバーでもあり、国際的な視野を持ったユニークな研究会でもあります。

第15回日本癌病態治療研究会では、新しい試みとして、評価課題選定委員会の委員の先生方にプログラム委員になっていただき、今後2、

3回連続したシンポジウムとして8題を企画いたしました。このテーマは今後2、3回連続して議論することになっております。その他の、主題として21題、特別企画として6題を企画いたしました。また、今までの本研究会を総括する意味で、過去の奨励研究のその後の進展、過去の興味ある症例のその後に関し、発表をいただくように依頼いたしました。会員諸兄のご理解とご協力で85題の演題をいただきました。発表していただく演者の先生方、司会の労をとっていただく司会者の先生方、プログラム委員会の先生方にこの紙面を借りて御礼申し上げます。

今回は、特別講演は企画いたしません、演者の先生方は全て第一線の先生方で、十分な講演時間を取らせていただきました。若手研究者にとっては将来の研究のヒントになる講演になると信じておりますので、ぜひ参加していただきたいと願っております。将来に向けて実りある研究会となるような学術講演会になることを祈念してご挨拶とさせていただきます。

### 〈研究班評価・課題選定委員会、プログラム委員会〉(順不同、敬称略)

委員長	松島 綱治	東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻社会予防医学講座分子予防医学
	田中 紀章	岡山大学大学院医歯学総合研究科消化器・腫瘍外科学
	田原 秀晃	東京大学大学院医学系研究科外科
(第14回当番世話人)	新津洋司郎	札幌医科大学内科学第4
	張ヶ谷健一	千葉大学大学院医学研究院腫瘍病理学
	前原 喜彦	九州大学大学院医学研究院消化器・総合外科(第2外科)
	松川 正明	昭和大学附属豊洲病院消化器科
(第15回当番世話人)	吉川 敏一	京都府立医科大学大学院医学研究科主体機能制御学
(第16回当番世話人)	生越 喬二	東海大学医学部消化器外科
次々回当番世話人	小川 健治	東京女子医科大学東医療センター外科